

# WARNING!!



喫煙防止教育指導パンフレット

# 君たちとタバコと 肺がんの話

この冊子は、**宝くじ**<sup>★</sup>の普及宣伝事業として助成を受け作成されたものです。

青少年の皆さん!!

タバコを吸うのは**絶対**に止めよう!

発がん物質は、君たちの👤年齢の肺が  
一番好きなのだ!





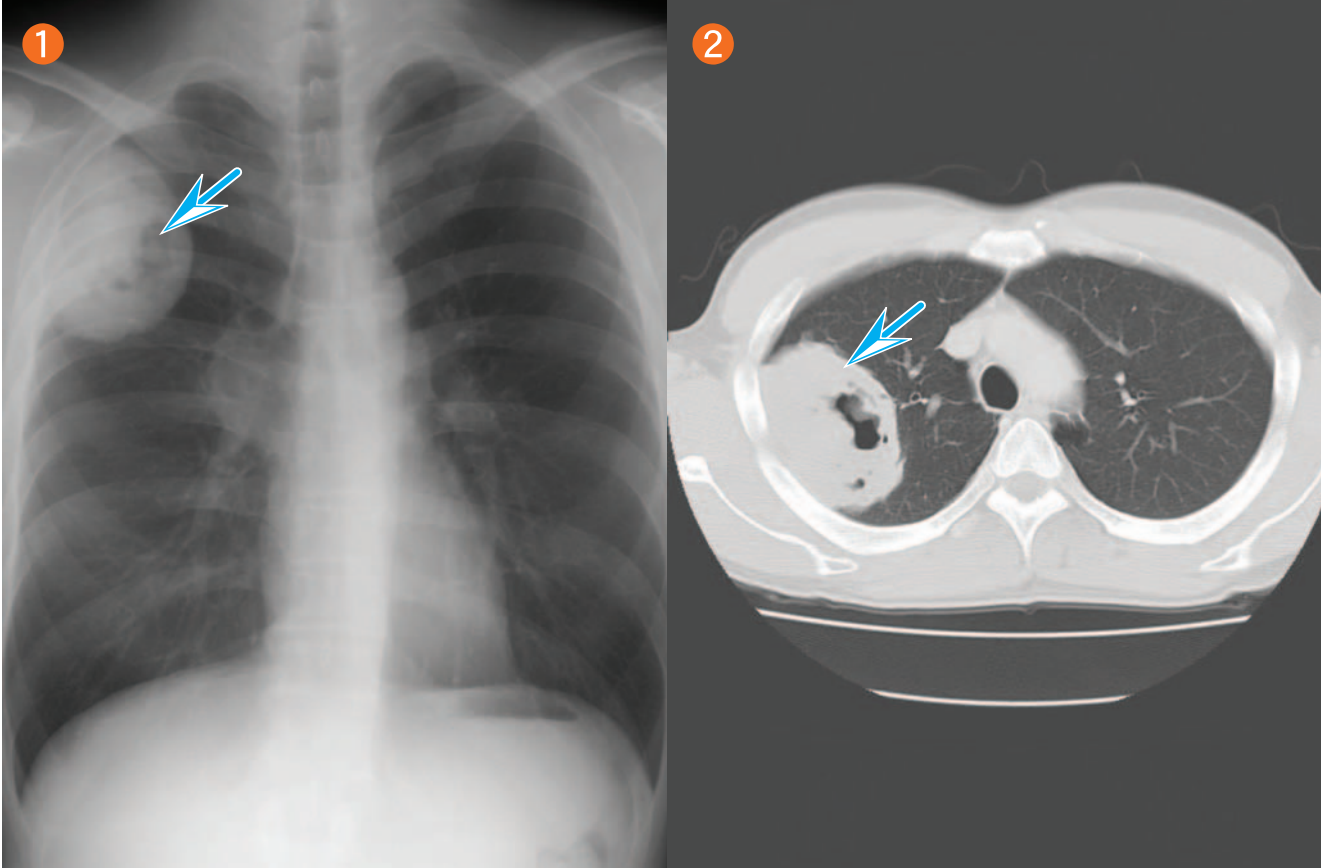


## 子供の肺とがんの芽

ここで、君たちと一緒に肺の発育について調べてみましょう。赤ちゃんが生まれて、うぶ声をあげる、それが肺の生理的な働きが始まりであることはよく知っていますね。だから君たちは、赤ちゃんの肺はお母さんのからだの中にいる間に、完全に発育が終わっていると考えて良いでしょう。ところがそうではないことがわかっています。つまり、生まれたての赤ちゃんの肺は、まだ未完成の状態であり、君たちの年齢になるまでユックリとしたスピードで発育を続けているのです。

若くて元気がよい細胞は外からきたいろいろな物質を受け入れやすく、刺激に感じやすい性質をもっています。気管支の内面はたくさんの細胞で覆われていますが、タバコの煙の中にある発がん物質に最も敏感なのが、この元気な細胞なのです。感じやすい細胞は次第にその性質を変えてゆきます。これが肺がんの芽であると考えています。

このように、肺がんの芽は子供の肺にできやすいのです。



[写真①&②] 15才でタバコを吸い始めて30才で肺がんで死亡した人の写真



[写真③] 肺がんになった肺

[写真④] 健康な肺

## 君たちの年齢が一番危険なのだ!!

日本の中で、肺がんの患者さんが一番多い県で調査したところ、昔、中学生の年齢でタバコを吸い始めた人が多かったということがわかりました。

「タバコを吸っていると、いつか肺がんになるかもしれない」とみんな、なんとなく思っています。しかし、このパンフレットをここまで読んできた君たちにはもうわかったことでしょう。

タバコによる肺がんの危険性は君たちの年齢のときに一番高く現れているのです。そして、君たちが若いお父さん、お母さんになったときには、その危険が君たちの子供へ受けつがれてゆく心配があるのです。

今回は肺がんを中心にお話しましたが、タバコの害は肺がんに限ったことではありません。タバコは、君たちのそして君たちの子供の身体と精神全体の正しい発育を阻害するものなのです。

●本パンフレットの記載内容は厚生労働省がん研究助成金による「日本における肺がん増加の阻止に関する総括的研究」の研究結果の一部であります。



## WARNING!!

君たちは知っていますか？ 肺がんが、いま非常な勢いで増え続けている恐ろしい病気だということを！そして、タバコがその原因となることを！

君たちの中には、やさしかったおじいさん、おばあさんがこの病気ですんでいるのを見て、悲しい思いをした人がきつというはずですよ。

君たちは、「肺がんは、おじいさん、おばあさんの病気だ」と考え、「私達には関係ないんだ」と思っているに違いありません。

「WARNING!! それは間違いだ。君たちの年齢が一番危険なのだ」と言ったら、「うっそー！ どうして？」と不思議に思うことでしょう。うそではないのです。肺の中にがんをつくってしまう最も重要な鍵は、君たちの年齢でタバコを吸い始めることにあるのです。

私たちは、「どうして？」の答えを皆さんに正しくお知らせすることが、とても大事なことと考えて、このパンフレットを作りました。君たちが読み終わったら、お父さん、お母さんにも見せてあげて下さいね。



## 肺がんの一生

レントゲン検査や痰の検査で肺がんが見つかるのは、ほとんどが60歳を過ぎたお年寄りです。しかし、肺がんの芽が人間の肺の中にでき始めるのは、もっともっと若い時なのです。がんの芽は、発がん物質というがんを発生させる物質によって性質を変えられてしまった一個の細胞です。顕微鏡でしか見られない非常に小さなこの細胞は、長い時間をかけて次第に悪性の細胞となり、あるときから、急に増え始めてがんと呼ばれるかたまりをつくります。

一個の細胞がその性質を変えてから、君たちの小指の頭ぐらいの大きさの肺がんになるまでには、20年、30年、いやもっともっと長い時間が必要なのです。がんは私たちがレントゲン写真で見つけられる大きさになるまでには、こんなにユックリした生活をしているのです。ところが、いったん目に見える大きさに育つと、アッという間に身体全体に次々と広がる性質をもっている不思議な、そして恐ろしい生き物なのです。

全身に広がった肺がんはとても治しにくいものですから、肺がんができないような方法を考えることが、一番大事なことです。それは君たちの肺の中に、がんの芽をつくらないように注意することから始まります。



## 我が国の死因の1位はがん。がん死亡のトップは肺がん。

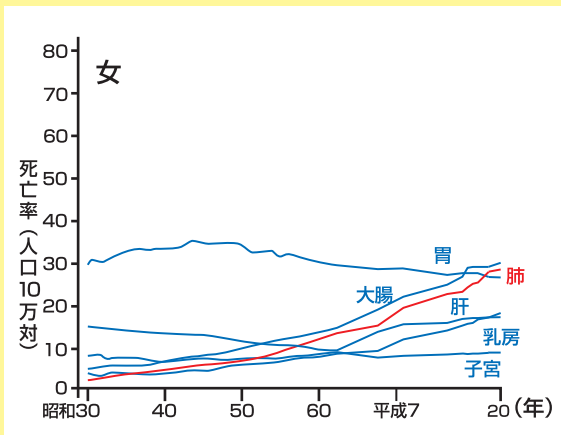
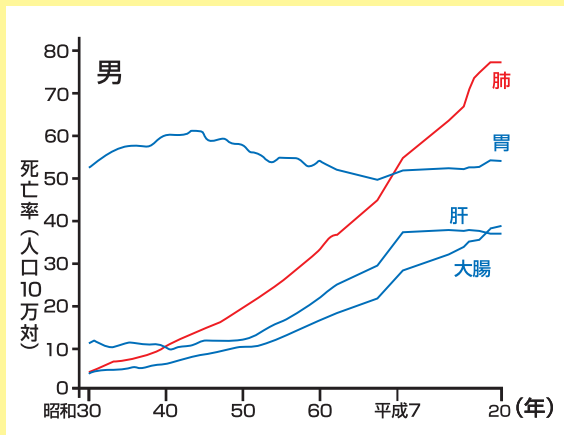
厚生労働省が、2009年に発表した人口動態統計によると、がんによる死亡者は年々増加し、2008年の死亡者は342,963人（前年より6,495人増）で、全死亡者の30.0%を占めています。すなわち、全死亡者のおよそ3人に1人は、がんで亡くなっています。また、その中でも肺がんの死亡者は66,849人（前年より1,241人増）で、前年に引き続いて1位となっています。

近年における「がんの主な部位別死亡率」の推移は、下図のとおりですが、男性の肺がんは特に顕著な増加傾向を示しております。

我が国の肺がん死亡が急速に増加しているのは、1950年以降に我が国に普及した紙巻きタバコによると考えられています。1950年に約500億本だった販売本数は、2008年には2,458億本と58年間で5倍に増加しております。

この結果、1960年にはわずか5,000人だった肺がん死亡は、2008年には66,000人と13倍に膨れ上がったわけですが、この増加のほとんどはタバコ喫煙によって説明できると考えられています。

### 悪性新生物(がん)の主な部位別死亡率の年次推移



■監修 **土屋 了介** 国立がんセンター中央病院長 **坪井 栄孝** 財団法人日本医療機能評価機構理事長 (元) 日本医師会会長  
**渡邊 俊一** 国立がんセンター呼吸器科 医長

■発行 財団法人 **がん研究振興財団**  
 Foundation for Promotion of Cancer Research

TEL (03) 3543-0332  
 FAX (03) 3546-7826

〒104-0045 東京都中央区築地5丁目1番1号 国際研究交流会館内 ホームページ [www.fpcr.or.jp](http://www.fpcr.or.jp)



より良い明日のために。宝くじは、大当たりのときめきとともに  
収益金による街づくりを通じて皆さまの暮らしを応援しています。

# 宝くじ♪ ステキな未来を築く夢。



(この遊具「0っこジャングル」(熊本県坪井川緑地公園内)は、  
宝くじの普及宣伝事業として設置されたものです。)



財団法人 **日本宝くじ協会**

当せんはしっかり調べて、しっかり換金。

<http://www.jla-takarakuji.or.jp>

●外国発行の宝くじを、日本国内において購入することは、法律で禁止されています。



【いぶき】はがん征圧のための基金です。皆さまのあたたかい気持ちが前へ進む原動力となります。  
この基金は様々な研究やイベント、広報活動に役立てられています。

- 少額から寄付できます
- 当財団への寄付金については税制上の優遇措置が適用されます
- 所得税、法人税及び相続税の寄付金控除が受けられます

※税制上の点及び寄付金控除等のことについては、ご相談下さい。(TEL 03-3543-0332)